

シラバス情報

| | | | |
|------------|---|--------------------------------|------------------------|
| 授業方法 | 講義 実験 ・ 実習 | | |
| 系 列 | 自動車整備 | | |
| 科 目 名 | 電装整備Ⅱ | | |
| 必修・選択 | 必修科目 ・ 選択科目 | | |
| 対象学科 | 一級自動車整備科 | | |
| 年次学期・曜日・時限 | 3年後期 | 水曜日 | 3・4時限 |
| 時 限 数 | 19時限（期末試験を含む） | | |
| 担当教員名 | 清末 裕貴(補助：大林 右京) | | |
| 実務経験 | 有 ・ 無 | | |
| | 国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、自動車の空気調和装置（エアコン）についての講義を実施する。 | | |
| 授業の目的 | 空気調和装置（エアコン）の構造、機能、点検方法を復習後、オートエアコンの各センサ、アクチュエータ、ECUの制御について学習する。 | | |
| テキスト | ①二級自動車シャシ（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②一級自動車整備士 シャシ電子制御装置（日本自動車整備振興会連合会 発行） | | |
| 授 業 計 画 | | | |
| 授業回数 | テーマ | 内容・方法等 | 使用テキスト 範囲 |
| 第1回 | 空気調和装置（エアコン）1 | エアコンの分類 構造・機能 | ①P186-195 |
| 第2回 | 空気調和装置（エアコン）2 | マニュアルエアコン オートエアコン | ①P195-200 |
| 第3回 | 空気調和装置（エアコン） 整備 | エアコン整備 冷媒量の点検、 ゲージマニホールド取扱等 | ①P200-203 |
| 第4回 | オートエアコンディショナ 高度整備技術1 | 概要 オートエアコンECU | ②P199-201 ②P269-272 |
| 第5回 | オートエアコンディショナ 高度整備技術2 | 構造・機能・点検 論理信号センサ、リニア信号センサ | ②P202-221 |
| 第6回 | オートエアコンディショナ 高度整備技術3 | 構造・機能・点検 リサキュレーションアクチュエータ | ②P222-241 |
| 第7回 | オートエアコンディショナ 高度整備技術4 | 構造・機能・点検 モードアクチュエータ | ②P241-259 |
| 第8回 | オートエアコンディショナ 高度整備技術5 | 構造・機能・点検 エアミックスクアクチュエータ | ②P250-257 |
| 第9回 | オートエアコンディショナ 高度整備技術6 | 構造・機能・点検 ブローモータ、CAN | ②P257-268 |
| | 期末試験 | 第1回～第9回までの授業内容に関する筆記試験 | |

| | |
|---------------|--|
| 到達目標 | オートエアコンのECU制御、各センサ、アクチュエータの構造・機能を理解し、電子制御系の点検・整備手法を修得する。 |
| 成績評価方法 | 平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。 |
| 定期試験受験資格 | 開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。 |
| 成績評価基準 | <p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80%</p> <p>平常点 20%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。</p> <p>70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点 = 良とする。</p> |
| 成績評価できない場合の基準 | 全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。 |